

(様式 1-3)

双葉地方水道企業団帰還・移住等環境整備事業計画 帰還・移住等環境整備事業等個票

令和 3 年 1 0 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	14	事業名	広野町東町産業団地水道管整備事業	事業番号	(2)-20-12
交付団体	双葉地方水道企業団		事業実施主体 (直接/間接)	双葉地方水道企業団 (直接)	
総交付対象事業費	2,805 (千円)		全体事業費	56,485 (千円)	
帰還環境整備に関する目標					
<p>広野町においては、広野駅東側に新たな市街地を形成し、原発事故からの復興を目指した復興ゾーンとして位置づけ、各種事業者や研究機関の誘致を進めるとともに、災害公営住宅の整備や分譲住宅等の整備を実施し、避難住民の帰還の主たる受け入れ先としてさらなる帰還の促進を進めている。</p> <p>福島イノベーション・コースト構想における広野町の主な取り組みとしては、広野火力発電所内に発電効率が高く有害物質の排出を抑えられる、高効率石炭火力発電 (IGCC) の建設や双葉地方の将来を担う人材育成のための教育機関として「ふたば未来学園高等学校」の開校が挙げられる。</p> <p>また、双葉地域の復旧・復興事業や福島第一原子力発電所の廃炉に向けたバックオフィスとして、広野未来オフィスビルや町内各所に現場事務所が建設されるなど、双葉地域はもとより浜通り地方復興の下支えを担っていると考える。</p> <p>さらに、広野工業団地及び東町産業団地 (除染廃棄物仮置場) を再整備することで、新たな企業の誘致や雇用拡大による住民の安定的な職の確保を図り、地域における経済の発展に繋げ、町の再生加速を図る。 (開発区域 A=7.3ha)</p> <p>現在、東町産業団地内には上水道が整備されていないことから、新たに整備する道路と併せ水道管の布設工事を施工するものである。</p>					
事業概要					
東町産業団地を整備する上で必要なインフラ (上水道) を整備する。 ・配水管測量設計 2,805 千円					
当面の事業概要					
<令和 3 年度> ・配水管測量設計 ※今回 (第 37 回) 申請					
<令和 4 年度> ・配水管布設工事					
地域の帰還・移住等環境整備との関係					
広野町の復興拠点である広野駅東側開発で整備した第 1 期開発地区である産業団地には、オフィスビルや医療機関、IT 企業、集合住宅が立地している。当地区に加え、除染廃棄物仮置き場の跡地を活用し、産業団地を整備することで、新たな企業誘致や雇用拡大による住民の安定的な職の確保を図り、地域における経済の発展に繋げる。					
関連する事業の概要					
「広野町復興計画 (第二次)」の 9 項「基本方針 3 21 世紀の世界を担う新たな産業創出による賑わいのあるまちづくり」を図るため、広野駅東側のエリアを東日本大震災及び原子力災害からの復興の拠点として位置づけ、新たな産業団地を整備し、企業誘致を行い、雇用の場を創出し、町民帰還や地域の再生に結びつける。					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

双葉地方水道企業団帰還・移住等環境整備事業計画 帰還・移住等環境整備事業等個票

令和 3 年 10 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	15	事業名	大熊町西工業団地水道管整備事業	事業番号	(2)-20-13
交付団体	双葉地方水道企業団		事業実施主体 (直接/間接)	双葉地方水道企業団 (直接)	
総交付対象事業費	7,029 (千円)		全体事業費	153,979 (千円)	
帰還・移住等環境整備に関する目標					
<p>大熊町では「大熊町第二次復興計画」(平成 27 年 3 月)において、避難先での安定した生活の支援と併せて、「帰町を選択できる環境」の整備を進めることとしている。(平成 31 年 3 月に改訂版策定)</p> <p>この「帰町を選択できる環境」の整備の一環として、既に復興拠点として帰還に向けたインフラ整備を復興拠点の大川原地区に先行しているが、町民が帰町を選択ができる下地作り、町外からの流入人口の増加には雇用の場、産業の発展が不可欠と考えている。このような産業団地を整備することにより、町の復興促進と町内の雇用の促進を図る。</p> <p>現在、大熊町西工業団地内には上水道が整備されていないことから、新たに整備する道路と併せ水道管の布設工事を施工するものである。</p>					
事業概要					
大熊町西工業団地の整備に伴い、必要となる水道管網の整備を実施する。 ・配水管測量設計 7,029 千円					
当面の事業概要					
＜令和 3 年度＞ ・配水管測量設計 ※今回 (第 37 回) 申請					
＜令和 4 年度＞ ・配水管布設工事 (一部供用開始)					
＜令和 5 年度＞ ・配水管布設工事					
地域の帰還環境整備との関係					
大熊町においては、東日本大震災及び原発事故により多くの生命・財産の喪失に加え、全町民が避難を余儀なくされており、大熊町 (町及び自宅) へ帰還するまでの避難生活が長期化している。 復興計画にも雇用や産業の面でも記載がある点や、各意向調査でも雇用の場の創出が帰還率へ影響する点が認められている点から地域の帰還・移住等環境整備と関連性が強い。					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	